

世界の民族構成（「統計と社会学」からの抜粋）

民族運動の資料を真に**全体として概観**するためには、地球上の**全住民**を取らなければならない。このばあい、つぎの二つの標識をできるだけ正確に確定し、できるだけ完全に調査しなければならない。すなわち、第一には、個々の国家の民族構成が純粋であるか雑多であるかということであり、第二には、個々の国家（あるいは本来の国家と言えるかどうかという疑問がわくばあいには、国家に類似した構成体）を、政治的独立国と政治的従属国とに区分することである。

1916年に発表された最新の資料を取ろう。二つの原典、すなわち一つはドイツのオットー・ヒューブナー著『地理＝統計表』、もう一つはイギリスの『政治年鑑』（《The Stateman's Year Book》）による。第一の原典を基礎とすべきである。なぜなら、それはわれわれの興味をひいている問題についてはるかに充実しているから。そして第二の原典は、点検と、多くのばあい部分的な若干の修正のために利用しよう。

政治的に独立した、民族構成が単一であるという意味でもっとも「純粋な」国家から、概観をはじめることにしてしよう。ここですぐ第一位におしだされるものは、西ヨーロッパの諸国家、すなわちロシアとオーストリアより西にある諸国家のグループである。

西ヨーロッパの諸国家(17の国)

①ルクセンブルグ、モナコ、〔サン・〕マリノ、リヒテンシュタイン、アンドラの五カ国

民族構成の点ではきわめて純粋であるが、その取るにたりない面積という点からいって、まったくおもちゃのような国で、その人口は全部でたったの31万人である。疑いもなく、それらは全然国家のなかへふくめないほうが、はるかに正しいだろう。

②イタリア、オランダ、ポルトガル、スウェーデン、ノールウェー、スペイン、デンマークの七カ国はまったく**純粋な民族構成**をもった国である。

イタリア、オランダ、ポルトガル、スウェーデン、ノールウェーは人口の99%、スペインとデンマークとでは、人口の96%までが一つの民族に属している。

③フランス、イギリス、ドイツの三つの国家は、ほとんど純粋の民族構成をもっている。

フランスでは、人口のわずか1.3%が、住民の意志をふみにじり、偽造したナポレオン三世によって併合されたイタリア人である。

イギリスでは、アイルランドが併合された土地であるが、その人口440万人は、総人口4680万人)の10分の1にたりない。

ドイツでは、人口6490万人のうち、異民族は、ポーランド人(5.47%)、デンマーク人(0.25%)、アルサス=ロレーヌ人(187万人 2.88%)である。彼らはほとんどいたる所で、**イギリスのアイルランド人とおなじように民族的圧迫をうけている分子**である。ただし、アルサス=ロレーヌ人の一部(どのくらいか、正確にはわからない)は、疑いもなく、たんに言語の点だけでなく、経済的利益の点でも、共鳴の点でも、ドイツに引きつけられている。**全体としてドイツの人口の約500万人は、同権をもたない、抑圧されてさえいる異民族に属している。**

④スイスとベルギー。この西ヨーロッパの二つの小国家だけが、混合した民族構成をもっている。

スイスは、400万たらずの人口が、69%はドイツ人、21%はフランス人、8%はイタリア人から成り立っている。

ベルギーの人口は800万たらずであるが、そのうち53%ちかくがフラマン人、約47%がフランス人である。

けれども指摘しておかなければならないのは、これらの国家の民族構成がどんなに複雑でも、ここでは、民族の抑圧をうんぬんすることはできないということである。これら両国家の憲法によれば、すべての民族は同権である。スイスでは、この同権は実際にも完全に実施されている。ベルギーでは、むしろ、人口の大多数をしめているフラマン人にたいして権利の不平等があるが、しかしこの不平等は、いま考察している国家群に属しない国々でふつう見うけられるような不平等とくらべてとるにたりないことはいうまでもなく、たとえばポーランド人がドイツで、あるいはアイルランド人がイギリスで経験した不平等とくらべてみても、取るにたりないものである。

以上考察した国々をひっくるめると、総人口2億4200万の12の西ヨーロッパ国家(①を除く)からなる1グループがえられる。この2億4200万のうち、約950万人だけが、すなわちわずか4%が、被抑圧民族(イギリスとドイツにおける)である。これらすべての国家の人口のうち、主要な支配的民族に属しないすべての部分を合計すると、約1500万、すなわち6%となる。

したがって、全体としては、この国家群は、つぎのような特徴をもっている。それは、経済的にも、政治的にも、もっとも先進的な資本主義国であり、もっとも発展した国であるということである。おなじように、文化水準ももっとも高度である。民族的には、これらの国家の大多数は、まったく純粋な、あるいはほとんど純粋な民族構成をもっている国家である。特殊な政治現象としての民族の権利の不平等は、まったく取るにたりない役割しか演じていない。われわれの前にあるのは、「民族国家」の型である。人々は、多くのばあい、人類の全般的な資本主義的発展におけるその歴史的に制約された、一時的な性格をわすれて、この型をさかんに論じているのである。

⑤アメリカ合衆国と日本

では、この型は、西ヨーロッパの諸国家にかぎられているか、ということが問題になる。あきらかに、そうではない。この型のすべての基本的特徴、すなわち経済的(資本主義の高度な、とくに急速な発展)、政治的(代議制度)、文化的、民族的諸特徴は、アメリカとアジアの先進国家、すなわちアメリカ合衆国と日本にも、おなじように見うけられる。

日本の民族構成は、古くから確定していて、まったく純粋なものであって、人口は99%以上、日本人から成っている。

アメリカ合衆国では、人口のわずか11.1%がニグロ(白黒混血児とインディアンをもふくめて)であって、彼らは被抑圧民族にくわえるべきである。

なお、アメリカでは、1860～1870年代の進歩的前独占資本主義から、現代の反動的独占資本主義(帝国主義)へ移行し、この現代〔帝国主義時代〕にはいる境界線をとく

にはっきりと引いたのは、1898年のアメリカ＝スペイン帝国主義戦争（すなわち、二人の強盗のあいだで獲物の分けまえからおこった戦争）である。

アメリカ合衆国の白人人口 88.7%のうち、74.3%はアメリカ人で、わずかに 14.4%が、国外出生者、すなわち他の国々からの移住者である。

周知のように、**アメリカでは資本主義の発展の諸条件がとくに有利で、この発展がとくに急速であったために、ここでは、きわめて大きな民族的相違が、世界のどこにも見られなかったほど急速に、また根本的にならされて、単一の「アメリカ」民族を形成している**のである。

前述の西ヨーロッパ諸国へアメリカ合衆国と日本をくわえるならば、総人口 3 億 9400 万人をもつ十四カ国となるのであるが、そのうち民族的に権利の不平等なものは約 2600 万人、すなわち 7%である。さきまわりして、つぎの点を指摘しておこう。それは、ほかならぬこれら十四の先進国家の大多数が、十九世紀末から二十世紀はじめにかけて、すなわちまさに資本主義が帝国主義に転化した時期に、植民地政策の道をとくにはげしく前進し、その結果これらの国家は、こんにち、植民地従属国の五億以上の人口を「管理」している、ということである。

東ヨーロッパの国家群と六つのバルカン小国家

⑥東ヨーロッパの国家群——ロシア、オーストリア、トルコ（この国はこんにち、地理的にはアジア国家、経済的には「半植民地」とみなすほうが正しい）および六つのバルカン小国家、すなわちルーマニア、ブルガリア、ギリシア、セルビア、モンテネグロ、アルバニアは、**前述の国家群とは根本的に異なった姿をわれわれにしめしている。純粹の民族構成をもった国は一つもない！**ただバルカンにおける小国家だけが、民族国家と呼ぶことができる。ただし、それらの国内でも異民族人口は 5 ないし 10 %をしめていること、膨大な数の（その民族の総数とくらべて）ルーマニア人とセルビア人が「自」国の国境外に往んでいること、一般にバルカンでは、ブルジョア民族国家の方向をめざす「国家建設」は、1911～1912年のいわば「きのうの」戦争によってさえ、終らなかったことを忘れてはならない。スペインやスウェーデンなどのような、あのような民族国家は、バルカンの小国家のあいだには一つもみられない。

東ヨーロッパの三大国家——ロシア、オーストリア、トルコ——では、この三国のすべてを通じて、主要な「自」民族の人口比率は、43 %にすぎない。これら三大国家のおのおのにおいては、人口の半ば以上、すなわち 57 %が、「他民族」（ほんとうのロシア語でいえば異民族）人口に属している。

西ヨーロッパ国家群と、東ヨーロッパ国家群との差異は、統計的にはつぎの点に現れている。

西ヨーロッパ国家群には、2 億 3100 万の総人口をもった 10 の純粹またはほとんど純粹な民族国家と、1150 万人の人口をもつ民族的に「複雑な」構成をもっている二つの国家〔スイスとベルギー〕がある。しかしこの二つの国家には民族的抑圧はなく、憲法上、また事実上、民族の同権が実施されている。

東ヨーロッパ国家群には人口 2300 万をもった六つのほとんど純粋な国家(バルカン小国家)と、2 億 4900 万の人口をもった、「複雑な」、あるいは「混合的な」民族構成の、民族同権の実施されてない三つの国家とがある。

全体として、異民族人口(すなわち各国家の主要民族〔ロシアでは大ロシア人、オーストリアではドイツ人とマジャール人、トルコではトルコ人〕に属しない人口)の比率は、西ヨーロッパでは 6%で、それに、アメリカ合衆国と日本をくわえると 7%となる。だが東ヨーロッパでは、この比率は 53%である！

※若干文章の変更あり。

第 23 卷 P302~307 「統計と社会学」1916~1917 年に執筆